

別紙-1 業務成績評定表

調査・計画業務										業務名		市道〇〇線調査業務																																
評価項目		細 別	主任調査員						総括調査員						検査員						細別評定点																							
			a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	評価点	基礎点	評定点 / 配点	(評定率)																	
プロセス評価	実施能力の評価	実施体制及び執行計画																								0.0	12.0	/ 20	(0.00)															
	実施状況の評価	執行管理																									0.0	3.0	/ 5	(0.00)														
		品質管理																									0.0	12.0	/ 20	(0.00)														
		業務特性																									0.0	6.0	/ 10	(0.00)														
		創意工夫																									0.0	2.4	/ 4	(0.00)														
	説明調整能力の評価	説明調整能力																									0.0	3.6	/ 6	(0.00)														
	取組姿勢	責任感・積極性・倫理観																									0.0	3.0	/ 5	(0.00)														
結果評価	成果物の品質																									0.0	18.0	/ 30	(0.00)															
評定者別評価点 ①			0.0						0.0						0.0																													
評定者別基礎点 ②																																												
評定者別評定点 (③=①+②)			0.0						④						0.0						⑤						0.0						⑥											
業務評定点 ⑦=(④×0.4+⑤×0.2+⑥×0.4)			0.0																										0.0				60.0				0.0 / 100				(0.00)			
⑧事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)									0.0																																			
⑨成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)									0.0																																			
⑩その他(総合評価落札方式に係る減点等)									0.0																																			
総合評定点の算定			総合評定点⑪=⑦+⑧+⑨+⑩						0.0																																			
所 見			(主任調査員)						(総括調査員)						(検査員)																													

別紙-1 業務成績評定表(管理技術者)

調査・計画業務								業務名								市道〇〇線調査業務											
評価項目		細 別	主任調査員						総括調査員						検査員						細別評定点						
			a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	評価点	基礎点	評定点 / 配点	(評定率)
プロセス評価	実施能力の評価	実施体制及び執行計画																						0.0	12.0	/ 20	(0.00)
	実施状況の評価	執行管理																						0.0	3.0	/ 5	(0.00)
		品質管理																						0.0	12.0	/ 20	(0.00)
		業務特性																						0.0	6.0	/ 10	(0.00)
		創意工夫																						0.0	2.4	/ 4	(0.00)
	説明調整能力の評価	説明調整能力																					0.0	3.6	/ 6	(0.00)	
	取組姿勢	責任感・積極性・倫理観																					0.0	3.0	/ 5	(0.00)	
結果評価	成果物の品質																					0.0	18.0	/ 30	(0.00)		
①管理技術者業務評定点																							0.0	60.0	/ 100	(0.00)	
②事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)									0.0																		
③成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)									0.0																		
④その他(総合評価落札方式に係る減点等)									0.0																		
総合評定点の算定			総合評定点⑤=①+②+③+④						0.0																		

別紙-1 業務成績評定表(照査技術者)

調査・計画業務								業務名								市道〇〇線調査業務															
評価項目		細 別	主任調査員							総括調査員							検査員							照査技術者評定点							
			a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	評価点	基礎点	評定点 / 配点	(評定率)				
プロセス評価	実施能力の評価	実施体制及び執行計画																													
	実施状況の評価	執行管理																													
		品質管理																						0.0	30.0	/ 50	(0.00)				
		業務特性																													
		創意工夫																													
	説明調整能力の評価	説明調整能力																													
	取組姿勢	責任感・積極性・倫理観																													
結果評価	成果物の品質																							0.0	30.0	/ 50	(0.00)				
①照査技術者評定点																							0.0	60.0	/ 100	(0.00)					
②事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）									0.0																						
③成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)									0.0																						
④その他（総合評価落札方式に係る減点等）									0.0																						
総合評定点の算定			総合評定点⑤＝①＋②＋③＋④						0.0																						

評価項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ 4. 担当技術者(定めていない場合は管理技術者)は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☐ 5. 担当技術者(定めていない場合は管理技術者)は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ☐ 6. 業務の実施方針における検討方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法であり、他の手本となすべき優れたものである。 ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ 8. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出されている。 ☐ 9. その他 [] (対象:管理技術者)								☐ 実施体制及び執行計画について、調査職員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、調査職員の文書による改善指示に従わなかった。
◎評定は1～9のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c											

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(0 %)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(6)

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	－	2.5	－	0	－2.5	－5
実施状況 の評価	執行管理	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ☐ 2. 契約締結後すみやかに設計業務等に着手している。 ☐ 3. テクリスへの登録申請を調査職員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ☐ 4. 調査職員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ 5. 調査職員の指示事項に迅速に対応している。 ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ 8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ 9. 業務計画書の業務工程(表)は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ 10. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。 ☐ 11. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ 12. 第三者の土地等への立ち入りにあたって、トラブルの発生が無いように適切な対応を行っている。 ☐ 13. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ 14. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☐ 15. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を調査職員に提出している。 ☐ 16. その他 (対象:管理技術者)								☐ 執行管理について、調査職員が文書で改善指示を行った。	☐ 執行管理について、調査職員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は1～16のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0 %)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(9)									

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					28	21	14	7	0	-14	-28
実施状況 の評価	品質管理	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 1. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ☐ ☐ 3. 現地の状況に対応した調査方法を複数提案し、総合的な判断に基づき決定されている。 ☐ ☐ 4. 資料の提出時に、転記・計算ミスが無く内容のチェックを行っている。 ☐ ☐ 5. 業務の実施に当たり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 使用にあたって、事前に調査職員の承諾を得ている。 ☐ ☐ 6. 業務の実施に当たり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ☐ ☐ 7. 計算、集計整理、データ作成、図面等の内容が、適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 8. 業務の実施に当たり、現地踏査を行い業務実施に必要な現地の状況を把握している。 ☐ ☐ 9. 現地踏査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、 調査職員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 10. 資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、 調査職員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 11. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行い、もしくは提案がされている。 ☐ ☐ 12. 過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 ☐ ☐ 13. 技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 14. 当該業務における調査・計画の留意点が、調査・計画方法の内容に考慮される確に提案されている。 ☐ ☐ 15. 調査成果のとりまとめ、集計整理が、設計図書に定める又は調査職員の指示する業務の節目毎に、 適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 16. 事業特性、地域特性等が、調査、予測及び照査の手法の選定に考慮されているかの評価が適正に行われ ている。 ☐ ☐ 17. 評価項目の選定について、適切な評価項目が提案され、適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 18. 調査結果等の解析が適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 19. その他] (対象: 管理、照査技術者)									

調査項目	細 別	選択	評価	業務、	a	a'	b	b'	c	d	e
		区分	区分	管理技術者	4	3	2	1	0	—	—
実施状況 の評価	創意工夫	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 ☐ 3. 品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。 ☐ 4. 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 具体記述() ●判断基準 上記の項目のレ点の数により、1点から4点の加算評価とする。 ※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は4点の加算評価も可) ●評価点 4点(a), 3点(a'), 2点(b), 1点(b'), 0点(c)を入力してください XXXXXXXXXX * 業務評定、管理技術者の評価に反映。									

審査項目	細 別	選 択 区 分	評 価 区 分	業務、管理技術者		a'		b'		c		d		e	
				a	b	a'	b'	c	d	e					
				6	-	3	-	0	-3	-6					
説明調整能力の評価	説明調整能力	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ☐ 2. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ☐ 3. 打ち合わせ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 ☐ 4. 設計業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 ☐ 5. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 ☐ 6. 関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。 ☐ 7. 発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 ☐ 8. その他 [] (対象:管理技術者)										☐ 説明調整について、調査職員が文書で改善指示を行った。	☐ 説明調整について、調査職員の文書による改善指示に従わなかった。		
◎評定は1～8のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c															
①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0 %) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(3)															

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					12	9	6	3	0	-6	-12	
結果の評 価	成果物の 品質	●評価対象項目 (選択) (評定)									☐ 成果物について、調査職員 が文書で改善 指示を行っ た。	☐ 成果物について、調査職員 の文書による 改善指示に従 わなかった。
		☐ 1. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなくとりまとめられている。 ☐ 2. 現地調査等の結果が、写真や図面等により的確にとりまとめられている。 ☐ 3. 成果等の取りまとめにおいて、ミスがなかった。 ☐ 4. 業務成果は、特記仕様書、各調査業務及び計画業務の共通仕様書の各章の該当条文に定めた内容で的確にとりまとめられている。 ☐ 5. 業務報告書の作成にあたり、その検討・解析結果等を特記仕様書に定められた調査・計画項目に対応させ、その検討・解析等の過程と共に、的確にとりまとめられている。 ☐ 6. 調査、検討、解析に使用した理論、公式の引用、文献などが漏れなく記載されている。 ☐ 7. 検討、解析の計算過程がわかりやすく整理されている。 ☐ 8. 業務計画書で、成果品の品質を確保するための計画が記載され、漏れなく成果に反映されている。 ☐ 9. その他 [] ◎評定は1～10のうち 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 a' 評価値が70%以上80%未満 b 評価値が60%以上70%未満 b' 評価値が60%未満 c										

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(0 %)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(6)

考 査 項 目	細 別	選 択 区 分	評 価 区 分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	5	0	-10	-20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					28	21	14	7	0	-14	-28
結果の評 価	成果物の 品質	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 1. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ 2. 活用した技術基準や文献等の出典先が、それぞれの成果に記載され、わかりやすく整理されている。									

☐

☐

☐

4. 現地踏査の結果より判明した調査、計画上の対応が必要な事項についての対策が記載されている。☐☐☐☐☐☐

☐

☐

11. 成果品は、独自に設定した社内基準を満足し、精度の向上に繋がっている。

☐

☐

12. その他

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(0 %)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(8)